

団体名		公益財団法人武蔵野市国際交流協会						
①	指標名	在住外国人支援事業への外国籍市民参加促進			目標値	外国人支援事業への外国人の参加者拡大 (対前年度増)	実績値	1,050人
	過去の実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	達成率	109.1%	達成状況	達成
	(単位: 人)	749	857	962				
	取組内容	①「日本語コース」は、参加者の定員をコロナ禍以前の水準に戻すとともに、休止していた「日本語サロン」を再開した。 ②「小中学生のための学習支援コース」は、増加する参加希望者に対応し、引き続き子どもたちの居場所であるという意義を重視し実施した。 ③桜堤児童館等に協力して児童施設と外国人市民の親子とをつなげるにより双方に行政サービスやニーズを知っていただく、といった、地域における多文化共生の橋渡しを行った。						
	一次評価	新型コロナウイルス感染症の5類化を反映して定員を以前の水準に戻したことや、外国人人口が増加したことにより目標を達成できた。また、桜堤児童館へ出向いてイベントに参加したことで、MIAにつながっていなかった外国人市民にリーチできたことは、MIAの認知度向上にもつながった。引き続き外国人利用施設へのアウトリーチなどにより事業周知に努め、外国人市民の積極的な参加を促進していく。						
二次評価	目標を上回る参加者数だったことを評価する。引き続き、積極的に事業周知に努め、参加を促進できるよう取り組んでいただきたい。							
②	指標名	会費収入の確保			目標値	会費収入の確保 (対前年度増)	実績値	1,001千円
	過去の実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	達成率	104.8%	達成状況	達成
	(単位: 千円)	1,013	969	955				
	取組内容	①新型コロナウイルス感染症の収束により留学生が戻ってきたこともあり、むさしのファミリープログラムの広報を大学で行い、ファミリーに対しての活動の広報も進めた。 ②これまでの協会主催イベントに加え、保健センターでの「第3回むさしの食育フェスタ」や、市役所周辺で開催された「第32回武蔵野桜まつり」等のイベントに初参加することで、MIAの事業を周知する機会を多面化させた。						
	一次評価	ファミリープログラム参加者も活動を再開する動きがあったことが会費増につながった。今後もMIAの活動の周知を図り、会員の増加やそれに伴う会費収入増を目指す。						
二次評価	目標以上の会費収入を確保できたことを評価する。引き続き、各大学やイベント等での広報に努め、会費及び会費収入の増加を目指していただきたい。							
③	指標名	MIA事業へのボランティアの参加促進			目標値	ボランティアの参加 (対前年度増)	実績値	280人
	過去の実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	達成率	110.7%	達成状況	達成
	(単位: 人)	268	253	253				
	取組内容	①令和5年度は日本語交流員養成講座を開催し、37名が新たに日本語交流員となった。 ②日本語学習支援ボランティア活動説明会を実施するなど、ボランティア活動に際しての情報提供や研修を行った。 ③MIAの活動に参加している外国人に対し地域での活動を働きかけた。						
	一次評価	コロナ禍の収束を受けボランティア活動への関心が再度高まったことが増につながった。今後もMIAの活動の周知を図り、ボランティア活動への参加を促進する。						
二次評価	目標を上回るボランティア参加者数を評価する。日本語交流員養成講座への37名の新規参加や、日本語学習支援ボランティア活動説明会の実施などの取組みも評価できることから、ボランティアへの参加促進に向け継続して取り組まれない。							